

研修

休校時などのオンライン学習や

1人1台端末の効果的な活用に向けた研修

校内研修

学習支援ソフト等の活用の仕方

こんな先生方の姿が生まれました！

- 積極的にメモを取ったり、児童の反応をイメージしたりして学習支援ソフトの活用の仕方を順序立てて理解することができました。
- 具体的な授業の場面を想起しながら活用の仕方を質問するなど、ICT活用の意欲を高めました。

全ての教員がオンライン授業に対応できる学習支援ソフトの活用研修

受講者が主体的に研修できるように、複数のICT端末を準備し、説明と演習を組み合わせる。

- ・実際の授業を想定し、教員と児童のICT端末の画面の状況が確認できるように端末を複数準備する。
- ・受講者が、ICTの活用やオンライン学習の実施について必然性をもてるように、ファシリテーター自身のICTの利用例を具体的に紹介する。



ファシリテーターの指導のポイント

- ファシリテーター自身のICTの活用例を進んで紹介したり、児童の学ぶ姿を想起できるようにしたりして、受講者のICT活用のイメージを豊かにする。
- 紙媒体の資料等を準備して、ファシリテーターの説明を確認しながら受講できるようにするとともに、研修後も個々のICT活用指導力に応じて、ICT端末の活用方法等の研鑽が積めるようにする。

授業時に協働学習支援ツールを活用したくなる研修



児童の協働的な学びにおけるICTの活用方法や、教材の円滑なデータ処理・共有方法について演習を行う。

- ・授業で提示する教科書の問題を受講者と共有し、ICT端末で解答することで、ツールの活用効果を実感しながら、基本的な操作方法を習得できるようにする。



校内研究や実際の授業と関連付けた効果的なICTの活用方法について具体例を示し、演習を行う。

- ・具体的な質問を設定し、ポジショニングの効果について演習するとともに、授業の具体的な場面における活用のあり方について例示する。

ファシリテーターの指導のポイント

- 受講者の一人一人が、個々の実践やアイデアを持ち寄るように働きかけ、受講者間の対話を充実させる。
- 校内で目指す「主体的・対話的で深い学び」の姿を実現できるように、ICTの活用をどのように進めるべきかを検討できる場を位置付ける。